

本学会が扱うテーマ

本学会は、研究開発・イノベーションに軸足を置きつつ、社会的・経済的な価値創出を目指した経営や政策に関わる「基盤的知識の体系化」と「多様な経験的知識の集積」に向けて、理論と実践(ビジネス)の両面からアプローチしています。

テーマの例

- 技術経営(戦略、研究開発マネジメント、先進事例、ビジネスモデル、事業化、教育・人材育成等)
- イノベーション創出、起業
- 産学官連携・地域連携
- 研究・イノベーション政策
- 国際化・グローバル化(競争と協調)
- 人材(育成・確保、評価・処遇、キャリアパス)
- 分析と評価
- 科学と社会

会員

本学会は、研究開発やイノベーション創出に係わる方々とそのようなキャリアを目指す若手や学生によって構成されています。会員数は約1,000名です(2018年4月現在)。

- 企業(中小企業・ベンチャー含む)の経営者および技術企画・管理スタッフ、研究開発マネージャー
- 科学技術・イノベーション関連政策の立案推進者
- 大学、国・公立研究開発機関の経営層、実務者
- 研究助成機関のプログラムマネージャー、実務者
- シンクタンクの経営者・研究者およびコンサルタント
- 科学技術ジャーナリスト
- 研究・イノベーションに関わる経営・政策研究者、等

入会のご案内

本学会では随時会員を募集しております。

学会員になると以下の活動が可能になります。

- 年次学術大会での発表
- 研究分科会への参加
- 学会誌『研究 技術 計画』への投稿及び購読

年会費(年額)

個人会員	1万円
学生会員(社会人学生を除く)	3千円
グループ会員※	5万円
法人会員	10万円(1口あたり)

※グループ会員は、グループ代表者に加えて所属部署(大学の研究室、企業の研究所等)のメンバー4人(学生の場合は9人)まで年次学術大会・分科会等に参加できる制度です。

入会方法の詳細については本学会のホームページをご覧ください。

<http://jsrpim.jp/>



お問い合わせ先

研究・イノベーション学会事務局

〒135-8473
東京都江東区深川2-6-11 富岡橋ビル4F
公益財団法人未来工学研究所 気付
TEL/FAX: 03-5620-0577
office@jsrpim.jp

研究・イノベーション学会

入会のご案内

研究・イノベーション学会

Japan Society for Research Policy and Innovation Management

分析・評価
グローバル化

政策

イノベーション
産学官連携

目的

本学会は、

- イノベーションの創出に向けた企業経営・マネジメントの向上
- 科学技術・イノベーション関連政策の分析、評価、提言

など、研究開発とイノベーションに関する経営および政策について、学術交流と情報交換を行うことを目的としています。

技術経営
起業

会長メッセージ

会長(2018年度) 井川 康夫
(北陸先端科学技術大学院大学名誉教授)

本学会の起源は1985年設立の研究・技術計画学会で、技術経営と科学技術政策を二本柱としました。その後企業の技術経営では技術以外の要素が高まり、科学技術政策ではイノベーションが柱となるなどの変化があり、2015年に学会名を研究・イノベーション学会へと変更しました。

人工知能(AI)、ロボット、IoT、新機能材料デバイス、生命科学をはじめとした科学技術の発展と成果をいかに社会経済の向上に繋げるか、時代は大きな転換点にあります。科学技術の成果が市場・社会に受け入れられることがイノベーションですが、そのシステム、プロセスへの考究が求められます。

本学会は産、官、学からの会員がほぼ均等に集まり、約1000名で構成されています。イノベーションに係わる諸課題について学術発表、分科会、シンポジウム等の活動を通じて議論し、これらを広く学会外にも発信し、研究の活性化とイノベーション実現を目指していきます。

産
INDUSTRY

学
ACADEMIA

官
GOVERNMENT

研究・イノベーション学会

学会の活動

本学会では、多分野にわたる会員により、学際的、業際的な多様な活動が行われています。

年次学術大会 (毎年秋に開催)

2日間にわたり、250~300件程度の研究発表(一般講演、ホットイシュー)と、特別講演、パネル討論、シンポジウム等の多様な形式で、最新の研究成果の発表や、その時々的重要なテーマについての話題提供・討論が行われます。

シンポジウム (毎年春または夏に開催)

今日的なテーマを掲げ、基調講演、事例紹介等に続いて総合討論を行います。この他、関連学会や関連団体との共催により国際会議、講演会などを開催しています。

学会誌

学会誌『研究 技術 計画 (The Journal of Science Policy and Research Management)』を季刊で発行しています。内容は会員による査読付き投稿論文(「研究論文」、「研究ノート」)の他、その時々的重要課題・トピックに関する特集論文や論説、解説、書評からなります。また、英文による論文投稿も可能です。



研究分科会

会員の関心の高い分野について、様々な講師を招いた研究会・交流会を開催し、ネットワークを作る機会としています。また、関西地域、九州・中国地域の会員が中心となって地域支部も設置されており、地域内の研究交流の促進に取り組んでいます。

研究分科会・支部一覧

- 科学技術政策分科会
- 国際問題分科会
- 人材問題分科会
- 研究戦略・評価分科会
- 研究行動・研究組織分科会
- イノベーション交流分科会
- 女性エンジニア活生分科会
- イノベーションフロンティア分科会
- プロデュース研究分科会

- 関西支部
- 九州・中国支部

※この他、新規課題や新興の研究分野については「研究懇談会」を適宜設置し、研究交流を行っています。